

ボーイズタウン  
コモンセンスペアレンティング  
幼児版連続講座  
アンケート調査結果報告書

---

2019年7月

実施期間：  
2018年4月1日～2019年3月31日



一般社団法人  
日本ボーイズタウンプログラム振興機構

---

〒103-0024  
東京都中央区日本橋小舟町 7-2-2F  
T: 03-6206-2104 F: 03-5539-3539  
[www.ibpf-japan.org](http://www.ibpf-japan.org) | [www.csp-child.info](http://www.csp-child.info)

## 概要

実施期間：2018年4月1日～2019年3月31日  
 連続講座実施数：111講座 / 受講者数：738名

### 実施アンケート

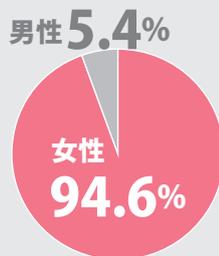
- ①事前アンケート（回答者数 480 名）：講座初日に実施
- ②事後アンケート（回答者数 435 名）：講座最終日に実施
- ③プログラム評価アンケート（回答者数 437 名）：講座最終日に実施

## 事前・事後アンケート

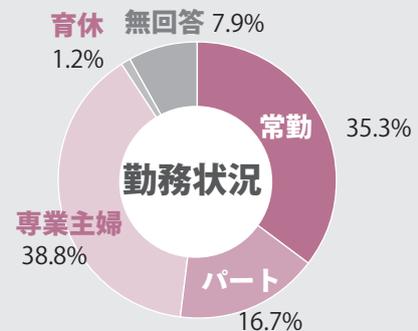
事前：回答者数 480 名 / 事後：回答者数 435 名

連続講座の初日に事前アンケートを実施しました。事前アンケートの回答者数は 480 名、事後アンケートの回答者数は 435 名でした。

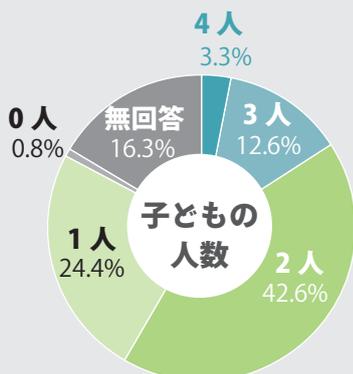
## 受講者について



受講者の平均年齢は 38.6 歳で 9 割以上が女性です。受講者の大半は、幼稚園から小学生の子どもを持つ 30 代～40 代のお母さんですが、全体で見ると 20 歳から 73 歳の幅広い年齢層が受講しています。



勤務状況は、約半数が常勤またはパートの仕事を持っており、4 割弱が専業主婦です。



子どもの平均人数  
**1.9人**

子どもの人数は平均して 1.9 人で、最も多い回答は 2 人 (42.6%) でした。子どもが 1 人の家庭が 24.4%、3 人が 12.6%、4 人が 3.3%、0 人が 0.8% でした。児童養護施設や保育園職員などを対象に開催している講座もあったため、中には子育て経験のない受講者もいました。

## 子どもに感じている困り感や子育てについて悩んでいること（事前アンケートより一部抜粋）

- 思い通りに子どもがいなくて泣いた時、泣き叫び続けた時、どうしたらよいか悩みます。
- 感情的になる。ピークになるとどう対応していいのかわからなくなり、私も感情的に怒ってしまう。
- 宿題をやり遂げられない。頭に来ると止められない行動がある。
- 下の子の寝起きが悪いことや毎日おなじ事で注意していることが悩みです。
- 私の言うことに、子どもたちは『イヤだ!』と言います。そして、ウソをつきます。
- 初めての所に行くと、色々目移りしてしまい、勝手に物を触ったりしてしまう。
- 上の子が時々、あばれたり、下の子をたたいたりする。
- 自分の思い通りにならんとかんしゃくを起こす。
- ダメなこと、してほしいと思ったことを具体的にみじかくうまく伝えてあげれてないので、お互いイライラしがち。
- 子どもへのしつけの仕方が不安。説明が回りくどくなってしまい、よけいに分からなくなってしまうのが、悩み。



## プログラムの効果測定

連続講座初日と最終日に同じ内容のアンケート調査を実施し、効果測定を行いました。質問内容は下記の通りです。

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 子どもを褒めることがある      | 5. 子どもを叩くことがある        |
| 2. 子どもを怒鳴ることがある      | 6. 落ち着きを保って「しつけ」をしている |
| 3. 子どもに適応行動（良い行動）がある | 7. 良い親子関係を築いている       |
| 4. 子どもの問題行動で困ることがある  | 8. 親としての（子育ての）自信がある   |

### 1. 子どもを褒めることがある

「子どもを褒めることがある」に対してとても当てはまる・やや当てはまると回答した参加者は 12% 増えました。受講者は連続講座を通じて、プログラムの重要な要素である「子どもの良いところを見つける」力が身に付いたと言えます。



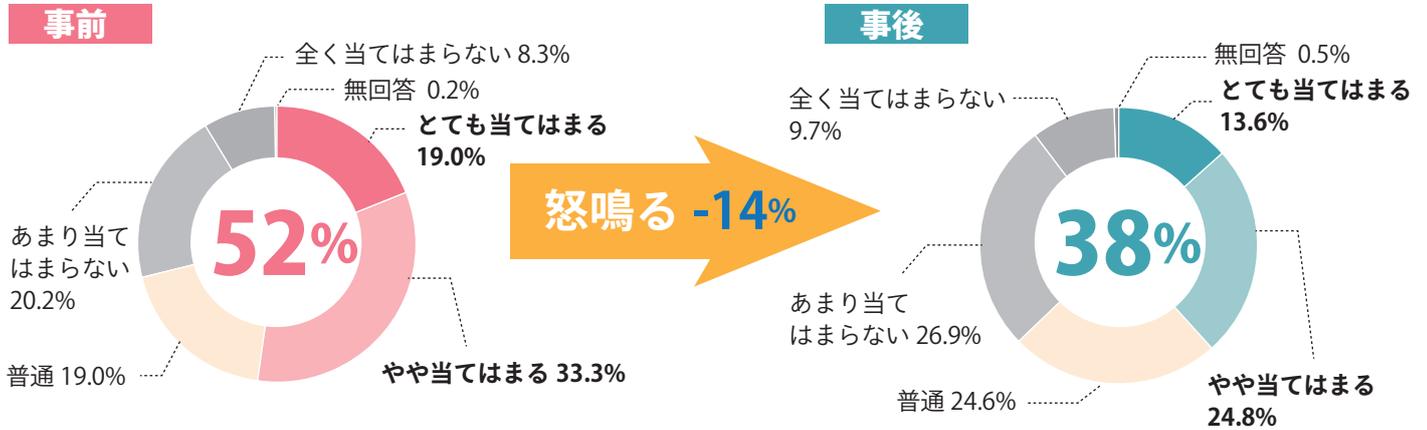
### 受講者の声

- 期待値を下げる事が出来たので、**子どもを褒める事が出来るようになりました**。それによって子どもの笑顔が増えました。
- 怒る事ばかりで褒めていなかった受講前と比べると、**ほめる事が増え、出来る事が増えてきた**と感じる事ができています。

(事後アンケートより一部抜粋)

## 2. 子どもを怒鳴ることがある

「子どもを怒鳴ることがある」に対してとても当てはまる・やや当てはまると回答した参加者は14%減りました。適切な期待値の設定や落ち着く方法を学び、実践することで感情的になることが減っています。



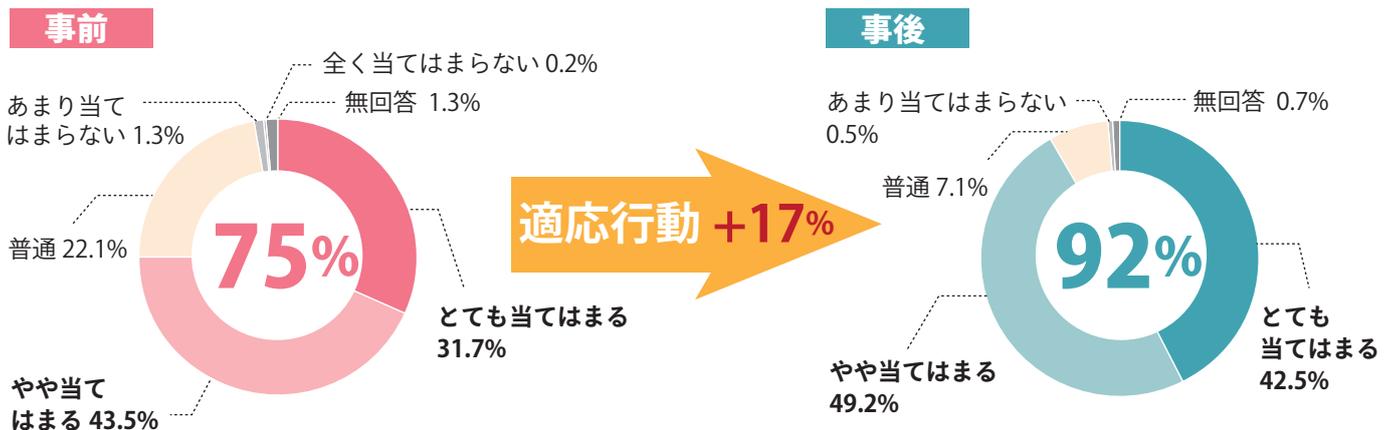
### 受講者の声

- コモンセンスに出会う前は、頭ごなしにしかると言うより怒鳴っていました。受講してからは怒鳴ることはあまりなくなりました。
- 勢いで怒鳴ることが減り、少し落ち着いてから注意や話をする事が出来るようになってきました。

(事後アンケートより一部抜粋)

## 3. 子どもに適応行動（良い行動）がある

「子どもに適応行動（良い行動）がある」に対してとても当てはまる・やや当てはまると回答した参加者は17%増えました。効果的なほめ方や予防的教育法を用いることで、子どもの適応行動が促進されました。



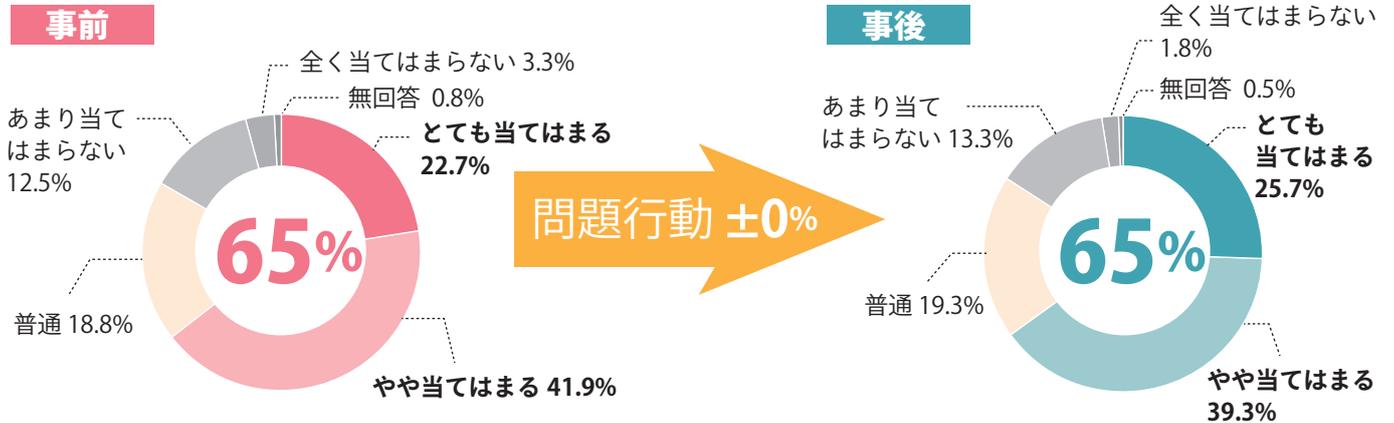
### 受講者の声

- 子ども達の適応行動をほめ、たくさん関わっていったことで、座って遊んだり、静かに座って待つことなど適応行動が増えました。
- 子どもにも良い行動が少しずつ見られるようになった。

(事後アンケートより一部抜粋)

#### 4. 子どもの問題行動で困ることがある

「子どもに適応行動（良い行動）がある」に対してとても当てはまる・やや当てはまると回答した参加者は65%で事前と事後が同じ割合になりました。参加者が施設職員や難しいケースを抱えている親の場合、子どもの問題行動が悪化する状況も見られました。



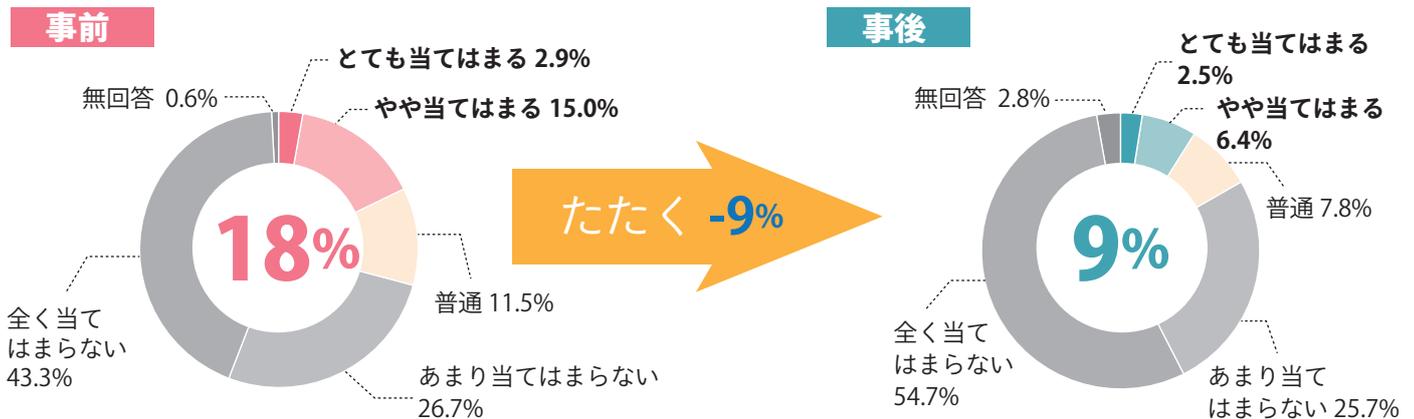
#### 受講者の声

- 子どもに対する姿勢がかわったおかげか子どもも以前よりも良い行動が増え問題行動が減ったように感じています。
- 子どもの問題行動（弟をたたく）が減り、良い行動（お返事や挨拶）が増えました。
- 見せて話すことで、問題行動が減りました。

（事後アンケートより一部抜粋）

#### 5. 子どもをたたくことがある

「子どもをたたくことがある」に対してとても当てはまる・やや当てはまると回答した参加者は9%減りました。子どもと良い関係を構築し、親自身が落ち着くことができるようになり、たたくことが減ったと考えられます。



#### 受講者の声

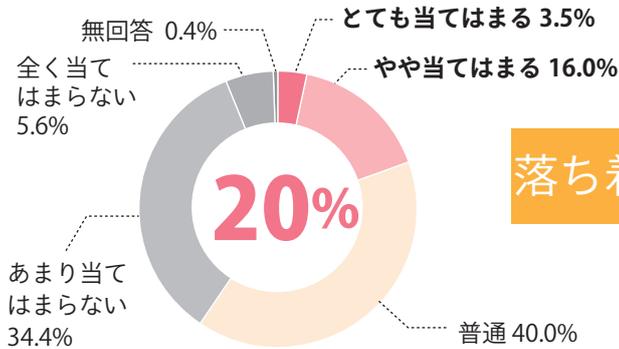
- 私自身が怒鳴ったりたたく頻度が減った。
- たたいたり怒鳴ったり頭でわかっている、してしまうことがあったのですが、問題行動の時の対処方法を教えてもらって少し冷静になれそうです。

（事後アンケートより一部抜粋）

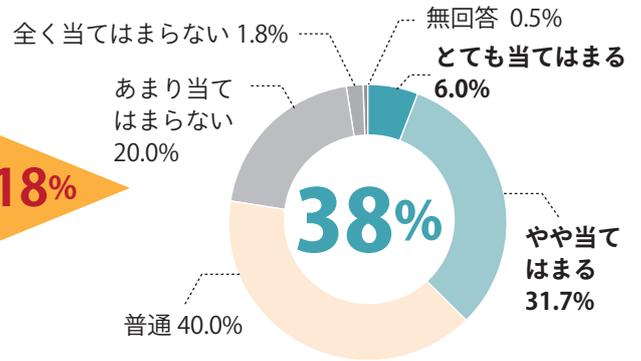
## 6. 落ち着きを保って「しつけ」をしている

「落ち着きを保ってしつけをしている」に対してとても当てはまる・やや当てはまると回答した参加者は18%増えました。落ち着く方法を学び、実践することで感情的にならない「しつけ」を行うことができました。

事前



事後



落ち着き +18%

受講者の  
声

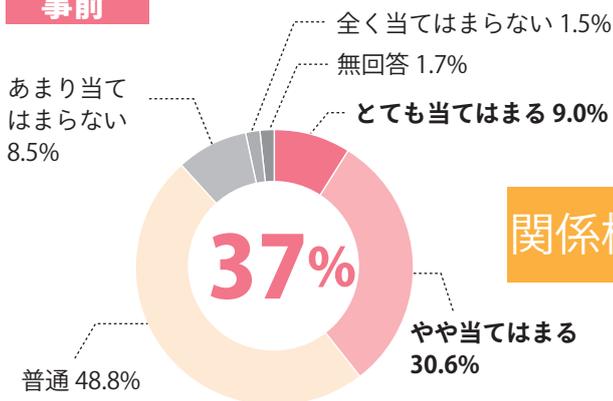
- 受講前は、しつけの方法が分からず、感情的になってしまい、後で落ち込んで親失格と思うことが多かった。学んだ後は、一貫した姿勢で、落ち着いて問題に対処できることも増えた。
- かつとなって感情的に子どもに言う事が減った。まず落ち着いて、冷静に子どもにアドバイスできることが増えてきた。

(事後アンケートより一部抜粋)

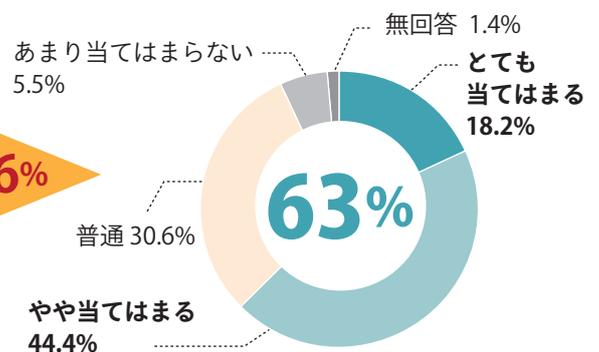
## 7. よい親子関係を築いている

「よい親子関係を築いている」に対してとても当てはまる・やや当てはまると回答した参加者は26%増えました。CSPの教育法や子どもとの前向きな関わり方を学ぶことで、大きく関係の改善につながりました。

事前



事後



関係構築 +26%

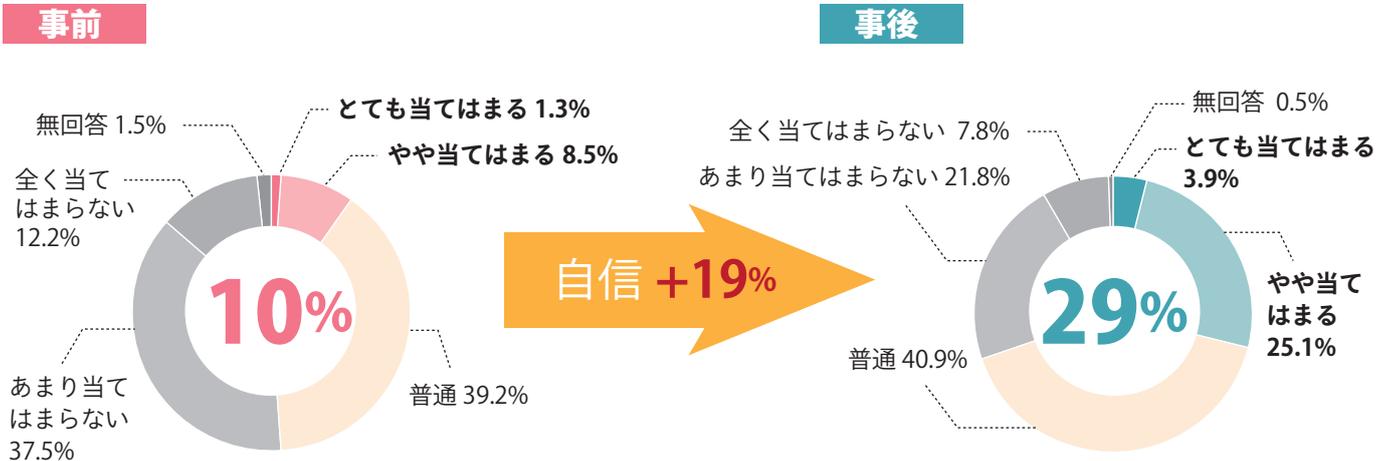
受講者の  
声

- 予防的教育法で事前に練習すると、きちんとできることが増えて、たくさんほめることができ、子どもとの関係もより良くなりました。
- ほめる事で子どもも変わってきて、問題行動やこだわりなど少なくなってきた、親子関係も段々良くなっていると感じる。
- 子どもに対するイライラがなくなり、良い関係を築いていると思います。

(事後アンケートより一部抜粋)

## 8. 親としての（子育ての）自信がある

「親としての（子育ての）自身がある」に対してとても当てはまる・やや当てはまると回答した参加者は19%増えました。



### 受講者の声

- 受講して前より**自信が持てました**。イライラしなくなりました。
- 今までよりも**ずっとずっと褒める事が増え**、少しでも**子育てに対して自信ができました**！コモンセンスを受ける前はまったく自信がなく、子どもと関わるのが辛く泣いた日もありましたが、教育法を使うだけでストレスなく関わっている事にとても感謝しております。

(事後アンケートより一部抜粋)

## プログラム評価

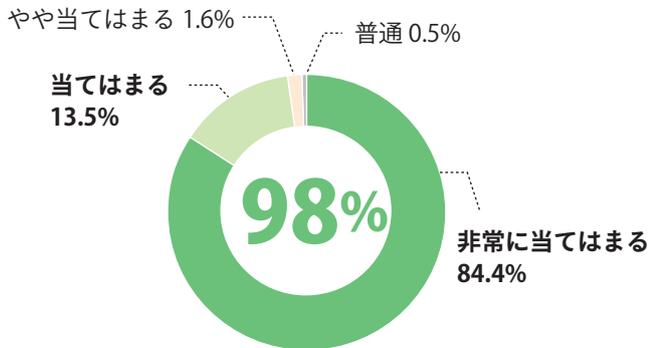
回答者：437名

3つの評価項目「プログラムの全体的な満足度」、「講師・プログラムへの満足度」、「プログラムの各セッションへの満足度」に分けてプログラムを評価するアンケート調査を実施しました。

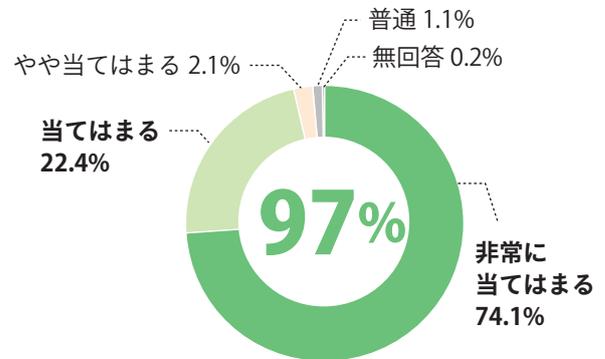
### プログラムの全体的な満足度

プログラムの全体的な満足度を評価する質問は全部で6問ありました。「プログラムに参加してよかった」に対して非常に当てはまる・当てはまると回答した参加者は98%でした。この結果から、非常に満足度の高いプログラムであることがわかります。講師に関する評価については、「講師やファシリテーターの指導、教材が良かったと思う」が97%、「参加者の質問に対する講師の回答や対応が良かったと思う」が96%、「講師は様々な教育法を伝える際、たくさんの例をあげ、わかりやすく教えていたと思う」が96%と高評価でした。参加者の今後の取り組みに関する質問、「このプログラムに参加し、家族との関係を前向きに変えてゆこうと思う」に対しても96%が非常に当てはまる・当てはまると回答し、プログラム参加後の前向きな姿勢が確認できます。最後に、「このプログラムを友達や知人に勧めたいと思う」に対しては88%が勧めたいと回答しました。

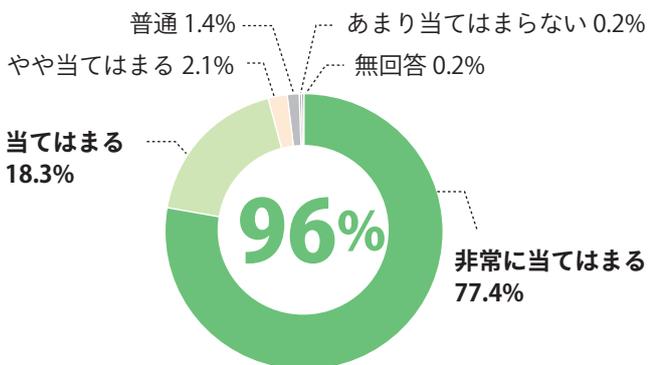
プログラムに参加してよかったと思う



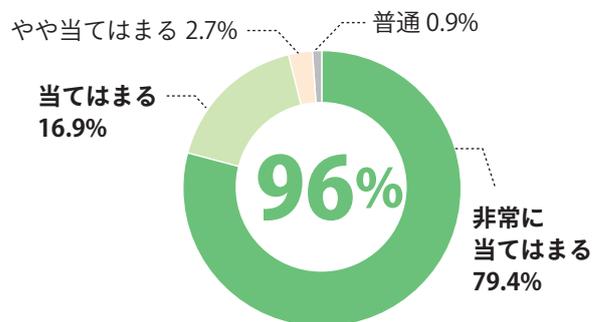
講師やファシリテーターの指導、教材が良かったと思う



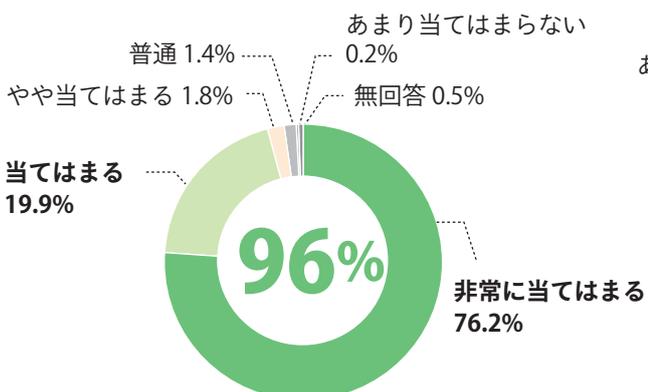
参加者の質問に対する講師の回答や対応が良かったと思う



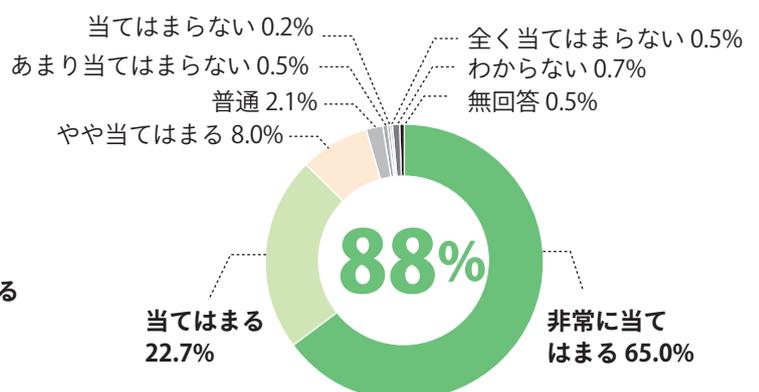
講師は様々な教育法を伝える際、たくさんの例をあげ、わかりやすく教えていたと思う



このプログラムに参加し、家族との関係を前向きに変えてゆこうと思う



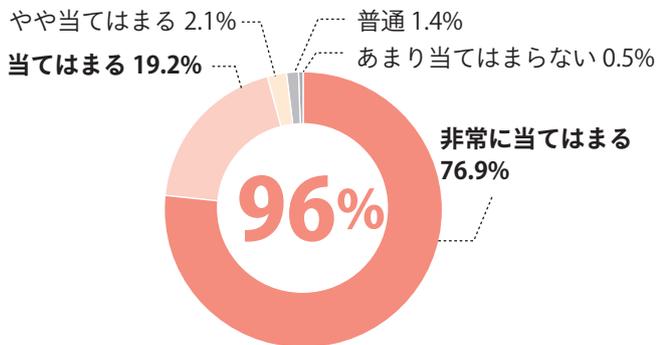
このプログラムを友達や知人に勧めたいと思う



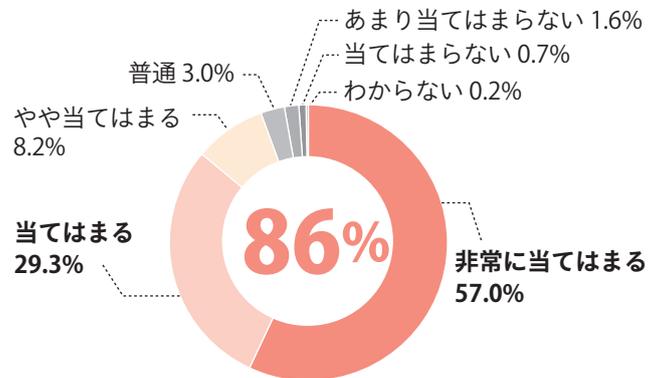
## 講師・プログラムへの満足度

講師・プログラムへの満足度を評価する質問は全部で4問ありました。「講師の説明の方法に満足できましたか」に対しては、96%が非常に当てはまる・当てはまると回答しました。「スキル練習の回数と内容は満足できましたか」に対しては、86%が満足していると回答しました。「次回までの課題に取り組みましたか」に対しては、取り組めた参加者が58%と他の質問に比べて低い結果となりました。忙しくて家に帰って課題に取り組みなかった参加者もいるため、こういった参加者への講師のフォローアップが今後も重要です。最後に、「DVD映像はよく理解できましたか」に対しては、80%が理解できたと回答しました。

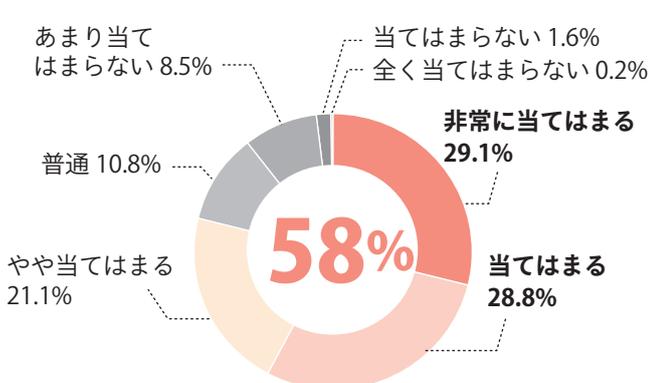
講師の説明の方法に満足できましたか



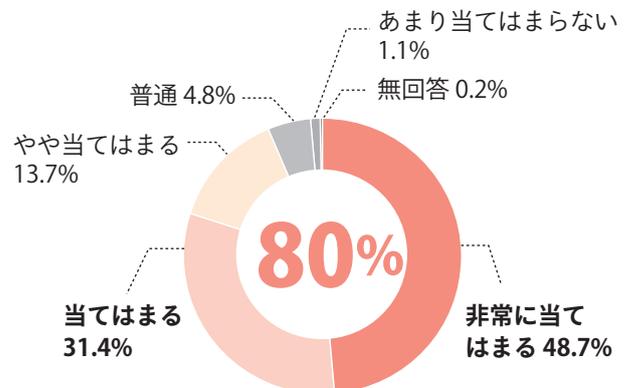
スキル練習の回数と内容は満足できましたか



次回までの課題に取り組みましたか



DVD映像はよく理解できましたか

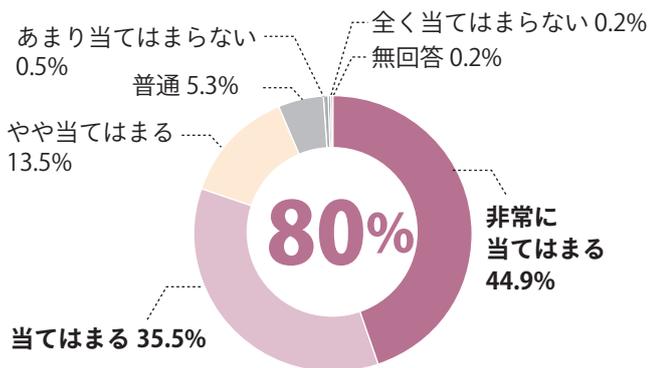


## プログラムの各セッションへの満足度

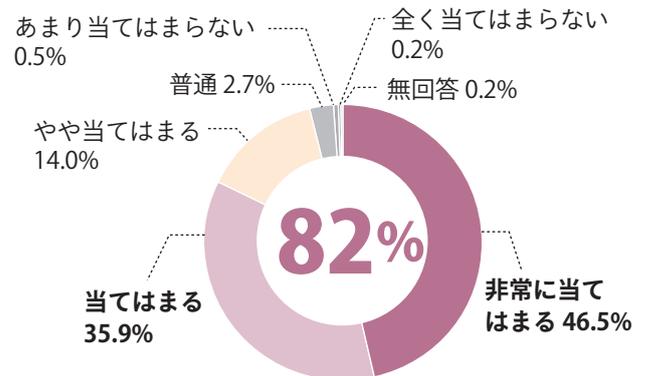
プログラムの各セッションへの満足度を評価する質問は全部で10問ありました。家族との関係構築に役立った・満足したと感じた参加者を項目別に見ると、次のような結果になりました。「子どもの発達」80%、「適切な期待値」82%、「育の行動」84%、「わかりやすいコミュニケーション」86%、「結果を用いる」80%、「効果的なほめ方」86%、「予防的教育法」81%、「問題行動を正す教育法」76%、「落ち着きを保つプラン」81%、「自分自身をコントロールする教育法」79%。各セッションの中でも、最も満足度が高かった「わかりやすいコミュニケーション」と「効果的なほめ方」は、家に帰った瞬間から使える簡単ですぐに効果の出るペアレンティングの方法です。反対に、最も低かったのは、「問題行動を正す教育法」と「自分自身をコントロールする教育法」でした。理由としては、事前の準備やスキル練習が十分でなかったことが考えられます。この教育法は、他の教育法に比べてステップが複雑になることと、問題が起きた時や感情的な場面での活用するため、事前の準備や練習が十分でない場合、子どもに対して適切な対応ができず、効果が見えにくかったことが考えられます。

### 次の項目を学び、家族との関係構築に役立ちましたか？

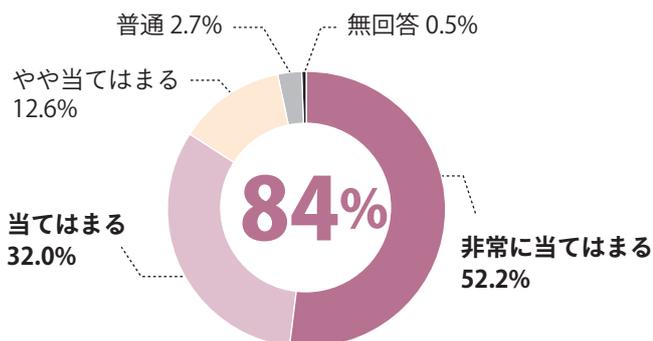
#### 子どもの発達



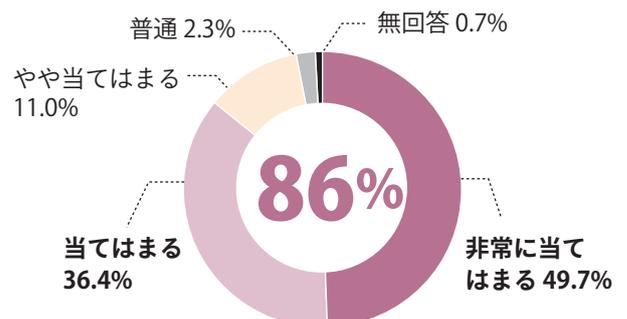
#### 適切な期待値



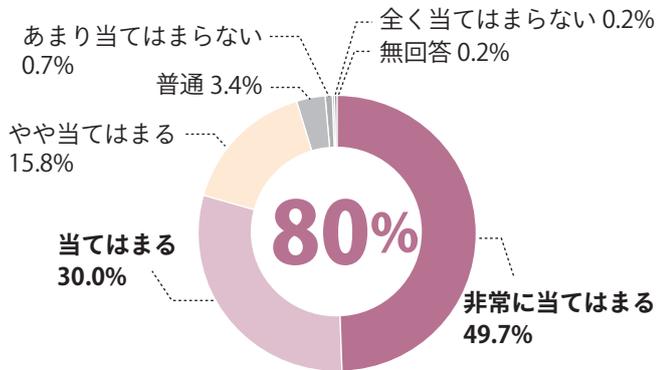
#### 育みの行動



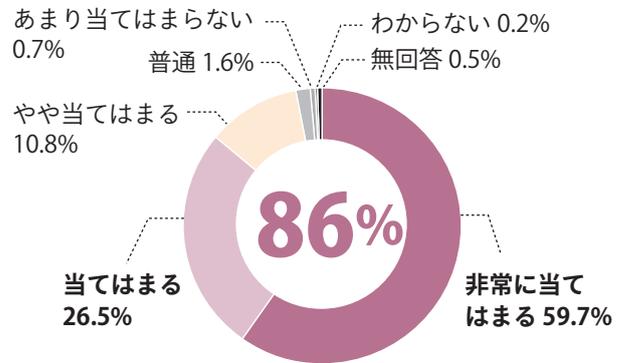
#### わかりやすいコミュニケーション



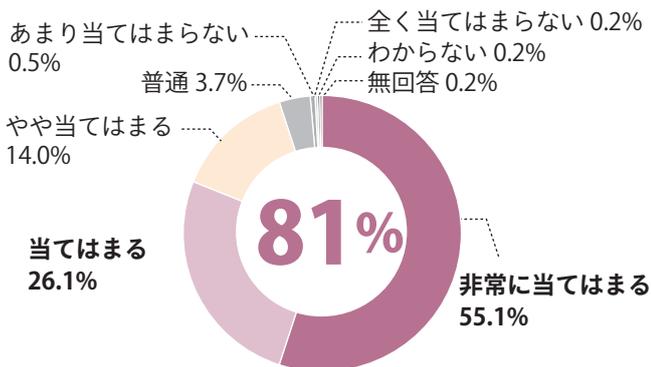
**結果を用いる**



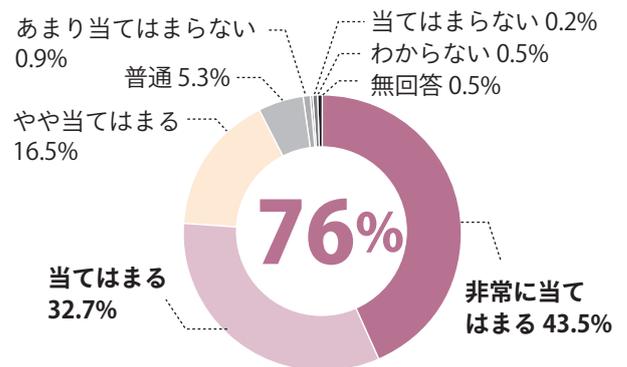
**効果的なほめ方**



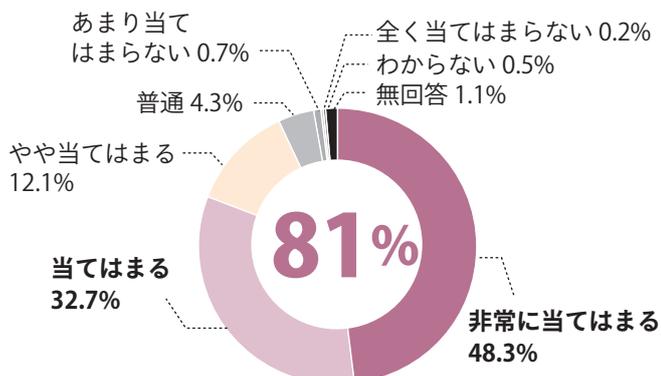
**予防的教育法**



**問題行動を正す教育法**



**落ち着きを保つプラン**



**自分自身をコントロールする教育法**

